

令和7年度取組状況

ものづくり工学科 ロボット工学コース 准教授 横井元治

取組状況	
教育	<p>①企業での開発経験を踏まえた具体例を授業に取り入れ、理論と実践のつながりを意識した教育を実施</p> <p>②講義においては背景や原理の理解を重視した授業設計を行い、知識の定着と応用力の向上を図った</p> <p>③授業初期および期末にアンケートを実施し、結果を基に授業スライドや進行方法を改善</p> <p>④配布資料や対話的な進行を通じ、学生が主体的に考える授業づくりを実践</p> <p>⑤国際化推進教育プログラム（GCP）において、企業でのデザイン思考の実践経験を活かし、学生の思考整理や課題設定を支援し、主体的な課題解決活動を促進。 →その成果として、学生が主体的に学外発表へ取り組むなど、発展的な学びに繋がった</p>
研究	<p>①モビリティにおける操作者の感覚や違和感に着目し、主観評価と走行挙動の関係把握に向けた基礎検討を実施</p> <p>②実機を用いた予備的な観察・評価を通じて、今後の研究テーマの方向性を整理</p> <p>③研究室立ち上げに伴い、計測機器や実験環境の整備を進め、次年度の本格的な実験実施に向けた基盤を構築</p> <p>④ゼミ学生との議論を通じて関心領域の把握を行い、次年度の卒業研究テーマを設定</p>
社会貢献	<p>①高専教育の魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験入学会や学校説明会において、本学喜多村教授と「高専生が参加者を支援しながら課題解決に取り組む体験型プログラム」を企画・実施 ・高専教育の魅力や学びの特徴を、体験を通じて分かりやすく発信 <p>②学会活動（一般社団法人 日本人間工学会 理事（財務担当）、表彰委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学会全体の財務を統括し、健全かつ安定した学会運営に貢献 ・予算管理や収支の最適化を通じ、持続的な学会活動の基盤づくりを推進 ・全国大会の表彰の取りまとめを担当、学術的価値の向上に寄与 <p>③国際標準化活動（ISO）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ISO/TC159/SC1国内担当委員として国際規格の審議に参画し、日本としての見解整理・提案を通じて人間工学分野の標準化に貢献した